

方針

創業精神

- いつでも
- 誰でも
- たやすく

安心して診療を受けられる病院にする。

董仙会 基本理念

人命尊重、心身の健康第一の立場に立ち、職員が一体となって地域住民の健康維持（予防、診療、リハビリテーション、介護）に努めると共に、地域の中核医療施設として、社会、経済、文化の発展向上に貢献します。

- 信頼の心 私達は、患者・利用者の皆様の権利を尊重し、信頼される質の高い医療により、地域に貢献します。
- 思いやりの心 私達は、思いやりのある病院・施設づくりに努めます。
- 健全な経営 私達は、収支構造の安定した病院・施設を維持します。
- 職員の幸せ 私達は、董仙会の発展を通じ、職員の幸せを築きます。

～当院の基本姿勢～

1. あなたは、個人的な背景の違いや病気の性質などにかかわらず、必要な医療を受けることができます。
2. あなたは、医療の内容、その危険性および回復の可能性についてあなたが理解できる言葉で説明を受け、十分な納得と同意の上で適切な医療を選択し受けることができます。ただし、必要に応じて主治医の判断によってご家族、代理の方にお話をする場合もあります。
3. あなたは、今受けている医療の内容についてご自分の希望を申し出ることができます。
4. あなたは、あなたのあらゆる医療記録に記録されたご自分に関する情報の提供を受けることができます。また、あなたの健康状態についての医学的な事実を含め完全な情報の提供を受けることができます。
5. あなたの医療上の個人情報保護されます。
6. あなたに研究の途上にある治療をおすすめする場合には、治療の内容や従来の治療方法との違いなどについて、前もって十分な説明をします。
7. あなたみずからに、医療従事者とともに力をあわせて、これらの権利を守り発展させる責任があります。

2012 年度 事業報告

1. 董仙会理事長方針

継続的基本方針

1. 患者様に信頼される医療機関となる
2. 地域社会から必要とされる医療機関となる
3. 経営の健全性を維持する

単年度方針

2012 年は、龍(辰・ドラゴン)の年。龍が登っていく姿は、能登の姿、能登島は龍が加えている宝玉。能は「その人としてできることの限り」を意味し、登は「上る・昇る」。『能登に来るといいことがたくさんある』、『けいじゅヘルスケアシステムに入るといいことがたくさんある』そう思ってもらえる地域貢献を目指すために、単年度目標を下記の2つとした。

I. シンプル ～患者・利用者によりわかりやすく～ ～ 職員の業務軽減を目指して～

業務、しくみが、複雑になっていないか？ わかりやすさを追求するために、よりシンプルにならないか？ 業務、システム、マニュアルなどを原点に立ち返り見直す。

行政的指導などに対処するために、あれも実施し、これも記載し、結局業務が増え、患者・利用者にもわかりにくく、職員の業務も増えていることはないか、捨てるものはないのか考える。

加えて

I-1 本部は、董仙会全体に先行し、ISOの取得を目指す。

II-2 恵寿総合病院は、病院機能評価 Ver.7.0 更新審査に向けて取り組む。

II. けいじゅヘルスケアシステムとしての機能強化 ～ 連携～

2. TQMセンター

董仙会方針を達成するために、TQMセンターとして、下記の目標設定提示を実施した。TQM大会を2012年9月15日と2013年3月16日の2回実施し、登録承認されたテーマの結果報告を得た。

財務の視点	本来業務目標 ・収入の視点 診療報酬:件数、加算、稼働率等の視点 介護報酬:件数、加算、稼働率等の視点 ・支出の視点 薬剤・材料費等
顧客の視点	本来業務目標 ・徹底した説明 ・サービス、満足度の追求
	単年度目標 ユニバーサル外来実現に向けて 例 入院サポートセンター業務拡充 総合相談窓口の検討

	<p>わかりやすい広報を目指して 専門職種ของทีมワーク強化 退院支援・退所支援 例 吸引、吸痰、NST、退院前家屋評価、外泊指導</p>
業務の視点	<p>本来業務目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全への積極的取組み ・本来業務を充実する
	<p>単年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務をよりシンプル(スマート、スピード)にする ・専門職種の連携
学習・成長の視点	<p>本来業務目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自己研修と学会活動への積極的参加 ・臨床研修の充実と質の向上
	<p>単年度目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務のシンプル化と職員教育 例 事務のスキルアップ 医師事務補助・看護補助業務・ 医事請求業務・経理・総務等 ・連携のための『けいじゅヘルスケアシステム』の人事交流研修

3. 恵寿総合病院事業目標と結果

24年度は、**病院機能評価 Ver.7.0**を受審するために、各部署準備をすることに努めた。

	目標	結果
財務の視点	<p>外来:紹介率 36%</p> <p>入院:新入院患者数の増加、600名/月 病床稼働率 87%(388名)</p> <p>薬剤・材料費の削減</p> <p>後発医薬品使用の推進 30%</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・紹介率平均 36.8%(前年 32.6%) ・新入院患者数 496名(前年 521名)/月 ・病床稼働率 86.4%(前年 87.3%) ・入院売上 60億8千万円(前年比 2.6%減) ・外来売上 21億6千万円(前年比 5%増) ・粗利 69億5千万円(前年比 1.6%増) ・後発薬品 26.7%(前年 12.4%) (薬剤購入額 1億6千8百万円減) ・未収入金発生は 640件(前年 894件) 2千万円(前年 3千万円)
顧客の視点	<p>徹底したICに基づいた患者満足度の追求 患者サービス・患者満足度の向上への 取り組み outcome-based-management (medicine)への意識改革</p>	<p>病院機能評価 Ver.7.0を2013年2月5日～7日 に受審し、それに伴い、顧客・業務・教育 の各視点でのマニュアル・規程等を整備した。 職員ノートを作成 第1回 糖尿病患者の集いを実施</p>

<p>業務の視点</p>	<p>職員間・部署内・病院内・関連事業所間での連絡・報告・協調体制の強化 病院サービスセンターの機能強化 業務補助者の管理強化と仕事の充実・モチベーションの向上による医療専門者の思い切った雑務・負担の軽減 医療安全への積極的な取り組みと注意の喚起</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・医療秘書課(医師事務作業補助)の新設 2012年新規に内科に4名・皮膚科1名・整形外科に1名の医師事務補助者を配置。2013年3月1日現在22名登録。 医師の外来補助業務について、看護補助から医師事務補助へ業務を移行した。結果、書類作成・オーダー代行入力・退院サマリー作成・問診表入力が可能となった。 ・看護秘書課の新設 ・サービスセンター業務拡大 診療情報提供書の電子カルテへの取込み 診療情報提供書料算定のオーダー入力 かかりつけ医への定期薬確認・カルテ入力 2人主治医制や循環器地域連携パスPR 糖尿病の地域連携支援 逆紹介のコーディネート
<p>学習と成長の視点</p>	<p>自主的学習(自己研修)と学会活動への積極的参加 臨床研修の充実と質の向上への取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学術雑誌の発刊 ・認定看護師の育成 2名誕生 3名教育課程受講 ・看護教員養成 2名 ・第1回石川県医師事務作業補助者研修会発表 ・医事課、医療秘書課職員の能力試験実施

病院機能評価 Ver.7.0 受審の中間的な結果報告(公益財団法人日本医療機能評価機構)

〈中項目〉5 4 3 2 1 段階評価

〈小項目〉abc段階評価

評価2以下の項目はありません という中間報告を受けた

4.介護事業目標と結果

2012年度は、マイナス3%改定にも関わらず、収入を維持することに努めた。

	目標	結果
<p>財務の視点</p>	<p>マイナス改正に対応し、加算取得 職員の流動的な配置と明確な管理</p>	<p>・総収入2億を維持</p>
<p>顧客の視点</p>	<p>わかりやすい広報活動を企画・立案・実施 (地域住民向け/職員向け)</p>	<p>・病院の職員(障害者病棟・回復期病棟)向けに、入院患者・家族に対する施設説明会を実施</p>

業務の視点	施設連絡会議の効率化を図る 事務長レベル・在宅サービス関係者・入退所関係者・リハビリ栄養等加算部門の会議を適時開催	・標準化を取り組んだ 例 加算、営業、レクリエーション内容 行事内容 口腔ケア・オムツケア
学習と成長の視点	けいじゅヘルスケアシステム内の人事交流 合同研修会開催のために介護部門研修委員会を設立	・人事交流 3 名追加 ・合同研修会 6 回開催

5.本部事務局事業目標と結果

2012 年度は、新病棟建設、病院改修に関わる事業、ISO 取得に向けた本部の管理体制整備、新規事業への検討を実施し、経営基盤を強化することを務めた。

	目標	結果
財務の視点	<p>本部は、収入を考慮した人事管理、予算を考慮した支出管理を行う部署であることを実践する(支出予算管理できるシステムを目指す)</p> <p>①経理・総務・用度システムの見直し ②人件費収支予算検討の上での人材の確保 ③委託業務、契約書を見直しできる体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・経理・総務・用度システムの見直し実施 25 年 6 月の経営会議資料から結果を示す ・用度課中心に支出統制を実施 アスクールを利用し、ペーパーレス化とスピード化 ・委託業者、仕入れ業者を徹底して見直し実施 施設管理については、本部自ら管理 ・SPD 化の拡大(消耗品、経管栄養) ・経済産業省「どこでもMy病院」事業 利益 1 千 7 百万 ・IT 新規システム導入 給食システム接続 財務人事システム ナースコールシステム接続検証 仮想化環境検証 現状システム環境調査 新病棟IT関連導入計画 セキュリティ強化計画
顧客の視点	<p>①ISO 取得に向け文書整備 ②広報戦略 董仙会内、地域、医療関係者、学生 ③退職金研修会の実施</p>	<p>文書整備予定の 7 割を整備 広報、リクルート活動の強化 各種パンフレット、ほっとタイム、 マンスリーリ、業績集リニューアル ユニクロとコラボ 七尾高校、東部中学校への出前授業</p> <p>80 周年誌準備 退職金研修の実施</p>

業務の視点	<p>本部は、董仙会の運営に関わる企画・立案・そのモニタリングを行う部署であることを実践する</p> <p>①本部 業務と責任の明確化、課を超えた横割り業務</p> <p>②全部署 属人化防止と後継者育成を考慮した人事</p> <p>③TQMセンターとして機能する</p> <p>④徳充会との人事交流</p> <p>⑤ISO9001 の取得</p> <p>⑥プライバシーマークの更新</p> <p>⑦モニタリングのための報告会等の実施</p>	<p>① 横割り業務、日直管理業務 開始</p> <p>② 幹部職員を全国公募</p> <p>③ TQM ヒヤリングを実施</p> <p>④ 開始</p> <p>⑤ ⑦準備中</p> <p>⑥ プライバシーマークの更新</p>
学習と成長の視点	<p>①継続的役職者研修の実施</p> <p>②徳充会との交流研修の推進</p> <p>③医療・介護の質の改善への努力</p> <p>各部署の研修計画とそのモニタリング</p>	<p>① 新役職者研修を初めて実施 係長研修 1 回 課長以上研修 3 回実施</p> <p>② 実施</p> <p>③ 準備中</p>

6.補助金事業・委託事業

董仙会全体として、下記の補助金・委託事業に取り組んだ。

経済産業省	医療情報化促進事業 のとの私のMy病院
石川県	石川県医療施設耐震改修等促進臨時特例事業
	がん診療連携協力病院体制整備事業
	新人看護職員研修事業
	認定看護師育成支援事業
	介護雇用プログラム事業
	能登地域総合診療強化事業
	石川県地域医療施設環境整備事業【モバイル事業】
	医師臨床研修事業【基幹型】
石川県立中央病院	医師臨床研修事業【協力型:金沢大学病院群】
石川労働局	特定求職者雇用開発助成金(特定就職困難者雇用開発助成金)
	障害者雇用特別給付金
	病児・病後児保育事業
	七尾市在宅介護支援センター運営事業
	家族介護教室(家族介護支援隊)事業
	七尾市運動器の機能向上事業

7.事業カレンダー

	出来事・董仙会事業	社会貢献事業
4月	・着任式 新規採用職員 42 名、着任医 5 名 臨床研修医 5 名 徳充会人事交流 3 名 董仙会職員総数 1,068 人	・第 7 回日本海脳卒中医療連携セミナー
	・第 4 回がん関連勉強会	
	・恵寿ストリートライブ	
	・けいじゅ一本杉・花嫁のれん展参加	
5月	・けいじゅ一本杉「母の日フラワーアレンジメント」	・能登地域医療研究会 高齢者ケアセミナー
	・けいじゅ一本杉「フリーマーケット」	・高校生 1 日看護師体験
	・病院機能評価 講演会 講師：芳珠記念病院 上田 博 病院長	・看護の日「プチナース体験」 袖ヶ江保育園より
	第 17 回クリニカルパス大会	・能登脳卒中地域連携協議会 第 7 回脳卒中フォーラム
6月	・けいじゅ一本杉「フラワーアレンジメント」	・東日本大震災における 医療救護班に感謝状
	・中途採用職員研修	・鳥屋小学校救命講習会
	・第 5 回がん関連勉強会 がんセンター「大腸がん」	・能登地域医療研究会 第 1 回がん診療連携セミナー
	・けいじゅ一本杉「元気貯金教室」	・BLS ヘルスケアプロバイダーコース
	・新ユニフォーム(ユニクロ)採用	
	・総合事務職個別説明会	
	・けいじゅ一本杉「元気貯金教室」	
	・2012 年度 医療安全管理部研修	
	・第 90 回がんプロ・がんセンターボード症例検討会	
・董仙会 理事会・評議員会		
7月	・着任医師新任式	・北星小学校救命講習会
	・2012 年度 恵寿総合病院 防火訓練	・七尾港祭・総踊り参加
	・プライバシーマーク現地審査 恵寿総合病院・鳥屋診療所・ほのぼの・いこい	・中学生わくわく体験 みそぎ中・田鶴浜中鳥屋中
	・第 91 回がんプロ・がんセンターボード症例検討会	
	・がん事例検討会	
	・2012 年度フォローアップ研修	
	・レジナビフェア2012 in 東京 東京ビックサイト	
	・けいじゅストリートライブ	
	・2013 年度新規採用職員選考試験①	
	・和光苑 石川県実地指導	

	・和光苑 菊水会 慰問	
	・鶴友苑・田鶴浜診療所・エレガント田鶴浜・もみの木苑合同納涼祭	
	・第 12 回倫理委員会	
	・2013 年度臨床研修医採用面接(第 1 回)	
8月	・2013 年度臨床研修医採用面接(第 2 回)	・高校生インターンシップ 鹿西高校・七尾高校
	・楽しく 夏祭り	・能登地域肝疾患セミナー
	・2013 年度新規採用職員選考試験②	・能登地域医療セミナー夏合宿 のと楽
	・心のコンサート プロが奏でる癒しのひととき	・七尾高校出前講座
	・第 6 回がん関連勉強会(キャンサーボード)	・中学生わく・ワーク体験 東部中
		・石川県合同輸血療法委員会 能登講演会 七尾美術館
		・七尾循環器・内分泌疾患フォーラム
9月	・2012 年度自衛消防隊訓練大会出場	・献血車来院
	・石川県がん診療連携拠点病院研修会 金沢大学	・命のキャラバン隊来院
	・第 28 回救急医療事例検討会	・能登地域医療研究会 第 8 回能登地区緩和ケア講演会
	・第 4 回董仙会 TQM 発表大会	・石川テレビ クスリのアオキヘルスアップセミナー in 七尾
	・いこい 敬老会	・和光苑 西湊まつりに参加
	・医療安全合同研修会	
	・ほのぼの 敬老会	
10月	・給食業務をレパストからシダックスに移行	・能登家庭医療道場
	・2013 年度新規採用職員選考試験③	
	・和光苑 鹿島日舞慰問	
	・第 7 回がん関連勉強会(キャンサーボード)	
	・石川県臨床研修病院指導体制強化事業研修会	
	・循環器疾患勉強会	
	・IQIP(患者管理の改善の可能性を追求するためのツール)施設認定	
	・第 10 回日本医療マネジメント学会 石川支部学術集会	
	・係長研修	
	・臨床倫理に関する研修会	
	・和光苑文化祭	
	・2013 年度新規採用職員選考試験④	
	・不在者投票(七尾市長及び補欠市議会選挙)	

11月	・年末調整説明会	・BLS(一次救命処置) ヘルスケアプロバイダーコース
	・第10回学術講演会	
	・2012年度5年後研修	
	・第1回 恵寿総合病院 糖尿病患者の集い	
	・けいじゅ一本杉 カルチャークラブ	
	・医療監視(能登中部保健センター)	
	・第3回医療技術部門学術奨励発表会 ・2012年度 秋季恵寿総合病院防火訓練	
12月	・いこい 家族会	・糖尿病地域連携カンファレンス
	・第29回救急医療事例検討会	・KPCVC(恵寿パートナーズ 心臓血管センター)フェスティバル
	・ホスピタリティー講習会	
	・スマホによる申し送り実験研修	
	・恵寿鳩ヶ丘忘年会	
	・鶴友苑忘年会 ・けいじゅ一本杉 カルチャークラブ	
1月	・新年互礼会・出初式	・能登地域医療研究会
	・けいじゅヘルスケアシステム成人式	・第20回 BLS ヘルスケアプロバイダーコース
	・国土交通省より短期入院協力病院の指定	・能登地域医療研究会 第7回イブニングセミナー
	・医療安全セミナー	・能登地域医療セミナー冬合宿
	・病院機能評価 訪問審査受審	
2月	・第9回がん関連勉強会(キャンサーボード)	
	・七尾市と福祉避難所の協定締結 董仙会・徳充会の11施設 収容人数539人	
	・2014年度新規採用職員採用試験(一次)	
	・2014年度新規採用職員採用試験(二次)	
3月	・2012年度第2回中途採用職員研修	臨床研修医修了式
	・第5回TQM大会	
	・薬学生のキャリアを考える就職セミナー	
	・董仙会 理事会・評議員会	
	・2013年度新規採用職員研修	